

投資環境整備プロジェクト及び ベンガル湾産業成長ベルト構想 (BIG-B: Bay of Bengal Industrial Growth Belt)

2016年4月

JICA投資環境整備アドバイザー(バングラデシュ)

前川 直行

バングラデシュの投資環境上の問題

- 経営上の問題

バングラデシュ		15年調査 (%)	14年調査 (%)
1	原材料・部品の現地調達の難しさ(n=34)	70.6	40.0
2	従業員の質(n=49)	57.1	68.4
3	通関等諸手続きが煩雑(n=48)	56.3	55.3
4	従業員の賃金上昇(n=49)	53.1	60.5
5	品質管理の難しさ(n=34)	50.0	48.0
5	通関に時間を要する(n=48)	50.0	57.9

出所： ジェトロ2015年度 アジア・
オセアニア進出日系企業実態調査
より

- インフラの未整備

- 道路、港湾など基本的なインフラが未整備のため、交通渋滞、通関の遅延などの問題が常態化。

- 電力不足、ガス不足

- 電力の需給ギャップ(2013年度はピーク時の電力需要8,349MW(予想値)に対し、実際の最大供給量が7,356MW)、ガスの需給ギャップ(需要3000mmcf/dに対して2700mmcf/dの供給)

- 土地がない

- 狭い国土、土地収用困難、登記情報電子化の未整備

- 煩雑な投資手続き

- ワンストップサービスが機能していない。

投資環境整備事業

- 背景

JICAは、日バ政府が取り交わした「The Agreement on Technical Cooperation between the Government of Japan and the People's Republic of Bangladesh」(2002年12月8日)に基づく技術協力の一環として、2012年度より投資環境整備アドバイザーをバ国に派遣している。第1期は、2012年10月～2014年8月にかけて派遣され、第2期目として2015年2月～2017年2月にかけてジェトロ職員を派遣することとなった。

- カウンターパート(C/P)

バ国首相府

- 専門家活動:

首相府をC/P機関とし、C/Pを中心とした対内投資に係る「バ」国政府機関の能力強化及び投資振興上の様々な課題の解決に向けバ国政府の取り組みの支援すること及びアドバイスこと。そのため、バ国関係諸機関(右表)より課長級のフォーカルポイントを集め、ワーキンググループを運営する。

Bangladesh Bank

Bangladesh Economic Zone Authority (BEZA)

Bangladesh Export Processing Zone Authority (BEPZA)

BKMEA

Board of Investment (BOI)

Economic Relation Division

Electricity Division

Executive Cell PEPZ PMO

FBCCI

Finance Division

Fuel & Mineral Resource Division

Internal Resource Division

Law and Justice Division

Ministry of Commerce

Ministry of Environment & Forest

Ministry of Foreign Affairs

Ministry of Home Affairs

Ministry of Industry

Ministry of Shipping

National Board of Revenue

Planning Division

Prime Minister's Office

Public-Private-Partnership(PPP) Authority

Road Transport & Highway Division

ベンガル湾産業成長ベルト(BIG-B)

●BIG-Bとは(日バ首脳共同声明より)

両首脳は、両国が、**ベンガル湾産業成長ベルト(BIG-B)イニシアティブ**の下で追求すべき経済協力の方向性及び政策対話を通じた案件の形成・実施への協調と協力を強化する必要性に関する考えを共有していることを歓迎した。

両首脳は、1)輸送網改善, 2)電力の安定供給, 3)経済特区開発などの都市開発及び4)財政的アクセシビリティの促進などの民間セクター開発といった分野における協力を行う意思を共有した。

BIG-Bイニシアティブの3本柱, すなわち1)経済インフラの開発, 2)投資環境の改善及び3)連結性の向上, に留意する一方で, 両首脳は, BIG-Bイニシアティブが, 高効率石炭火力発電のような日本の先端技術の最大限の利用が両国の相互利益と繁栄に貢献することへの期待を共有した。

BIG-Bに資する案件

経済インフラの開発

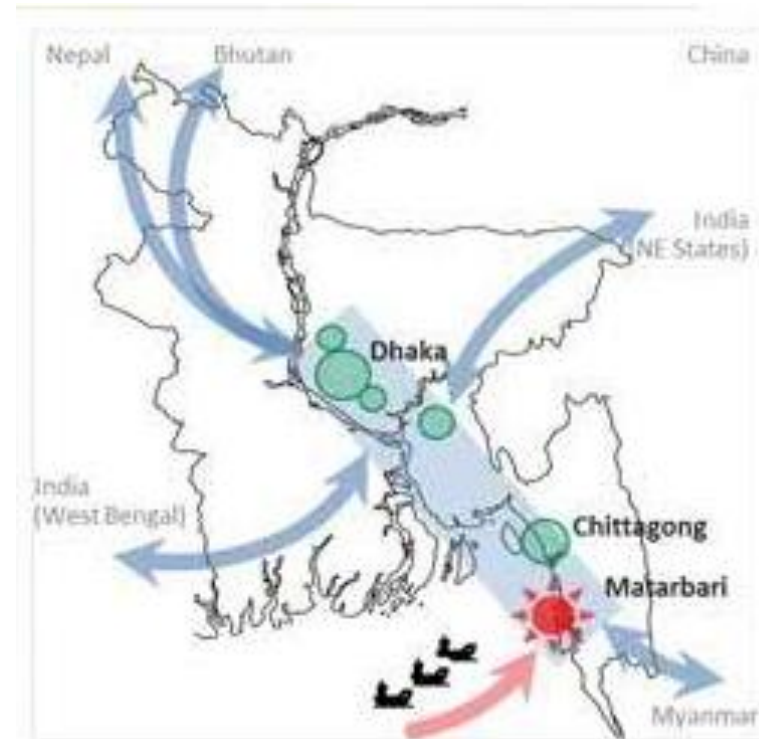
- マタバリ超々臨界圧石炭火力発電事業
- 火力発電所運営・維持管理能力プロジェクト
- 省エネルギーマスタープラン策定プロジェクト
- 天然ガス効率化事業
- ダッカーチッタゴン基幹送電線強化事業

投資環境の改善

- 外国投資促進事業(日本企業向けEZ開発)
- 経済特区開発及びBEZA能力強化プロジェクト
- 包括的中核都市行政強化事業

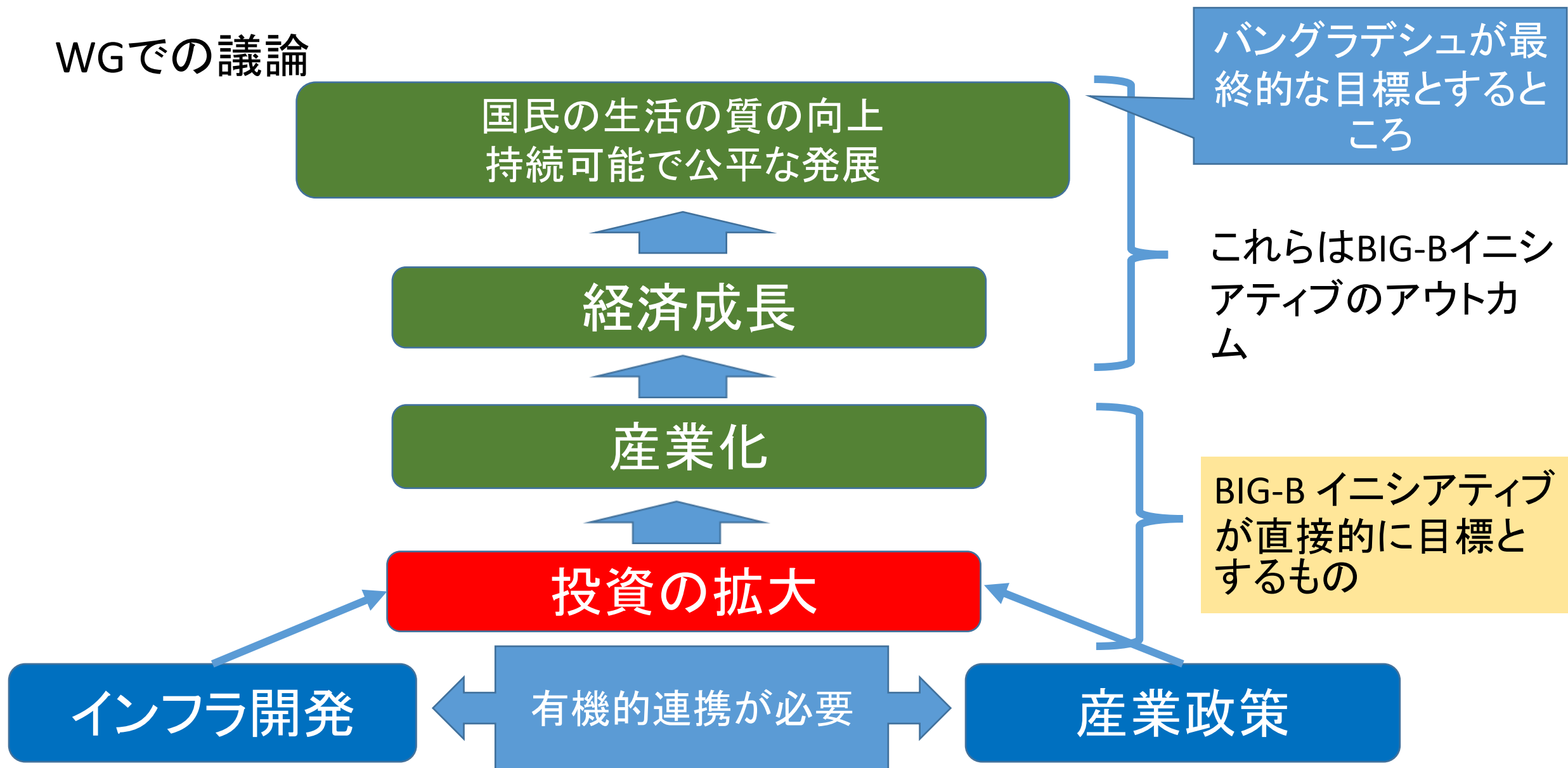
連結性の向上

- カチプール・メグナ・グムティ第2橋建設・既存橋改修事業
- ダッカ都市交通整備事業(MRT 6)
- ダッカ都市戦略計画改定プロジェクト



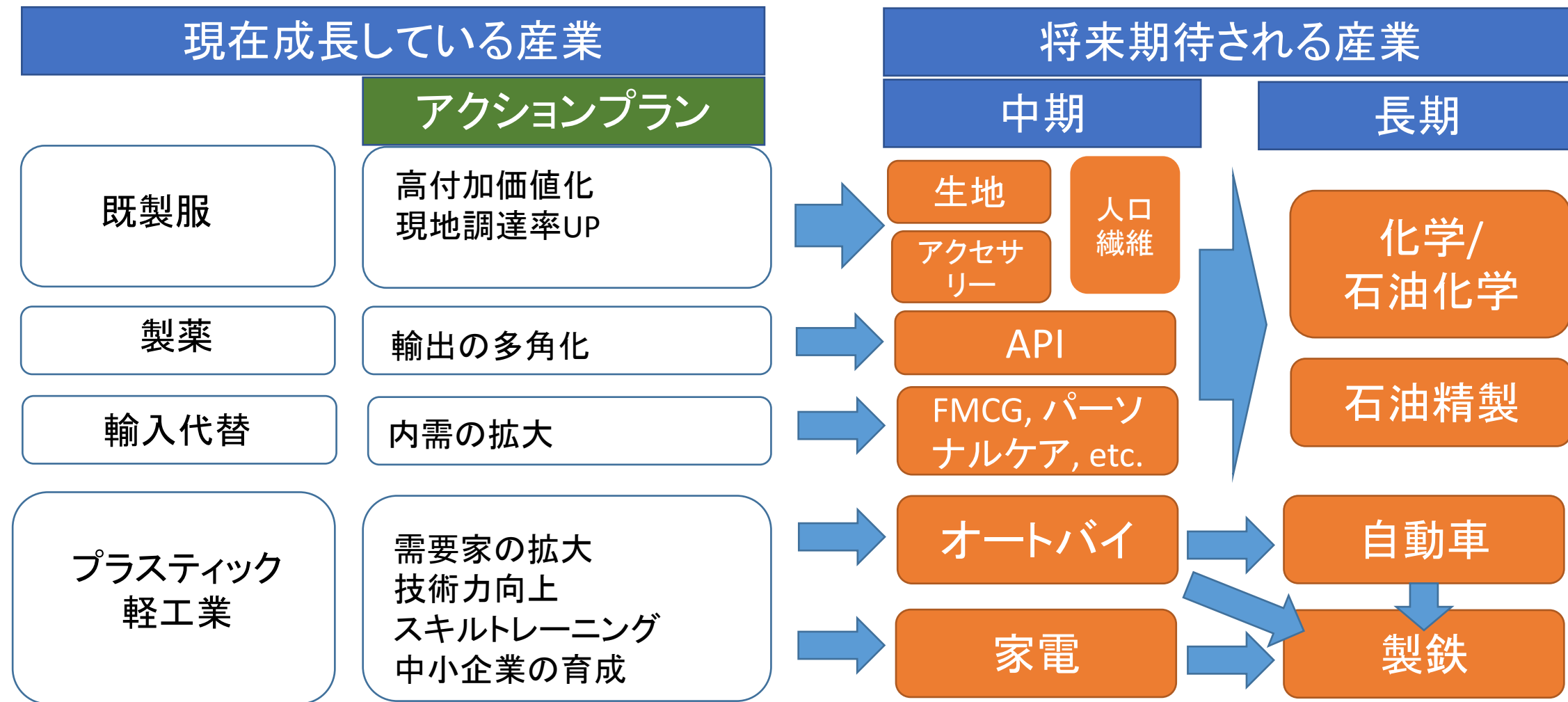
BIG-Bの目的

WGでの議論



求められる産業政策とのリンケージ

BIG-Bイニシアティブの下で産業を成長させていくためには、インフラ開発だけでなく、長期を見据えた産業政策が必要。



BIG-B により期待される効果

例えば、

既存プロジェクトの加速化

- グレーターダッカ、グレーターチッタゴン経済圏の形成
- 中核都市の開発 (Comilla, Feni City)
- PPPプロジェクトの推進

新規プロジェクト

- BBIN, CBIN, BIMSTEC
- ダッカ ⇄ チッタゴン
- ダッカ ⇄ その他の都市
- 新規に開発されるEZ, SEZ, ハイテクパーク
⇄ 既存のEPZや産業クラスター

連結の向上

既存産業クラスター向上

- ボトルネックの解消 (ex: アクセスロード)
- 集中排水処理施設
- ガス、電気のコネクション
- 生活の質的向上

お願い

- BIG-Bイニシアティブとは、バングラデシュへの投資を促進し、産業化を促すために、産業政策、外資誘致政策、貿易政策とインフラ整備、投資環境の改善等を連動させることが可能となる枠組みとなるべきものです。
- ここでご紹介したものは、投資環境改善のためのワーキング・グループからの意見です。
- BIG-Bを実現させていくためには、企業の皆さまからのアイデアが不可欠です。（例えば、こういう投資環境が整えば、こういう投資が考えられるぐらいの話でも結構です。）
- ご意見等、是非、JICAに積極的にお声をお寄せください。

ご清聴ありがとうございました。

JICA 投資環境整備アドバイザー(バングラデシュ)

前川 直行

Maekawanaoyuki@yahoo.co.jp